

本提案における1人1台端末の活用（まとめ）

I. 学習形態 一斉学習 個別学習 協働学習

II. 利用するICT タブレットPC (Windows Chromebook iPad)
実物投影机 大型提示措置（大型モニター、プロジェクター）
その他（ ）

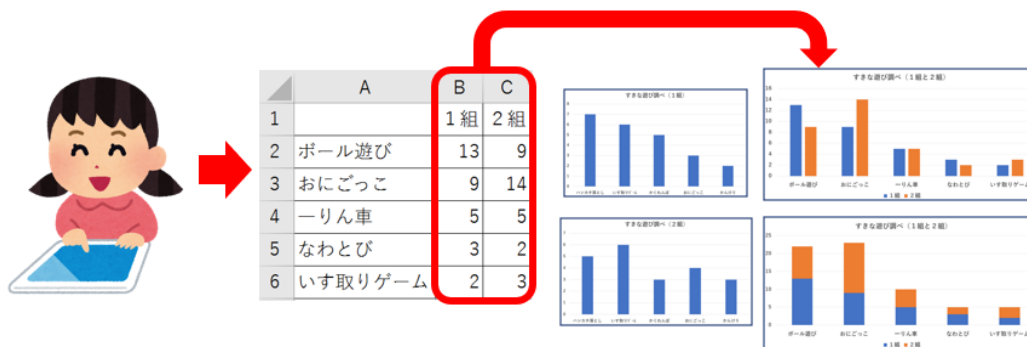
III. 利用するサービス ・Google ドライブ ・Google Classroom ・Google フォーム
・Google スプレッドシート

IV. 場面によるメリット（1人1台端末活用のよさ）

(1) 【時間短縮・校務の効率化】

ICT 機器を活用することによって、授業で提示する表やグラフ等の教材作成に要する時間を短縮することができる。

集計したものをグラフ化しておくなど、容易に書き換えができるデジタル教材の利点を生かすことで、教材の準備に要する時間を短縮できる。



(2) 【児童の理解状況の把握】

アンケート型のワークシートを用いることで、自力解決の際、児童がどのように考えているのか、短時間で把握し、意図的な指名につなげることができる。

多様な考えを引き出し、対話的で、深まりのある学習を実現することができる。

理解が十分でない児童を重点的に支援することができる。

